

利用ガイド

3 世界の子どもの遊び



やり方と使い方

子どもたちが言葉を学習するときに、初めに知りたいと思うものは、ものの名前すなわち名詞です。認識できたり言えたりできる名詞の数を増やすことは、英語学習でももちろん大切なことです。しかし、名詞と同じくらい重要なものが動きや状態を表す言葉の動詞です。名詞の数は少なくとも物の数だけありますが、子どもたちが学習の初歩の段階で、聞いたり言ったりする同士の数はそれほど多くありません。身近なスポーツや楽しいゲームの仕方、また使用する道具の使い方などを通して、人の体の動きを示す言葉に触れましょう。

番組では、サイモンの生まれ故郷オーストラリアの伝統的な狩りの道具、ブーメランが登場します。今ではスポーツとして取り扱われているこのブーメランの投げ方を子どもたちが習います。持ち方や投げ方、またゲームとして行うときのルール説明など、注意して英語を聞く必然性が出てきます。

さらに、後半のToday's Guestのコーナーでは、インドやバングラディッシュなどの国々で国技とされているカバディというスポーツが登場します。「スーパーえいごリアン」の3人の子どもたちが、始めて体験するこのスポーツのルールを教えてください、インドなどの外国の子どもたちと対戦します。

この表現が英語活動に使える！

- How do you play the game? : ある遊びやゲームの遊び方やルールの説明を求める質問。
- How do you use this? : ある道具などの使い方を問いかける質問。
- Try it. : 何かを試しにやってみたり、挑戦したりすることを促す表現。
- Good! : ここではうまくいった挑戦に対して「うまくいったね」と褒める表現。

指導上の参考

活動に向けての先生方の準備と練習

①番組の中で使われている動きを表す言葉を確認しましょう。

stand, go, come, fly, catch, watch(注意して見る), look, keep, play, hold, throw, face(顔を向ける), touch

②他のスポーツなどで使う可能性の高い動作を表す言葉を確認しましょう。

run, jump, hit, toss(ボールなどを渡す), pass, turn, spin(回転する), ride(乗る), dodge(よける)

活動例(1)クイズ「何のスポーツ？」

動作をすることばを聞いて、そのスポーツが何のスポーツか当てるクイズ。動作を表す言葉で子どもたちがわからないものがあったら、実際にジェスチャーでその動きをしながら言う。

【クイズの例】

Listen to me carefully.

What sport is this?

①I catch a ball. I throw a ball. I run. I hit a ball.

答え : baseball

②I jump. I hit a ball. I toss a ball. I receive a ball.

答え : volleyball

③I jump. I spin. I turn a rink. I skate.

答え : figure skating

④I stand on a board. I balance myself. I swim. I surf on a surfboard.

答え : surfing

⑤I throw a ball. I catch a ball. I hit a ball on you. I dodge a ball.

答え : dodge ball



活動例(2)クイズ「どうやって使うの」

子どもたちが普段見慣れない道具を用意して、その道具の使い方を想像するゲーム。台所のアイディア商品や、学校で先生が使う特殊な道具など、本物が見せられるものを用意すると面白い活動ができる。

【クイズの例】

What's this?

How do you use it?

①ゆで卵切り

It's an egg slicer.

Use it like this.(使う様子を見せる)

You can slice an egg.

②ティーボール (ポット用のボール型紅茶入れ)

It's a tea ball.

Use it like this.

You can put tea in it.

③缶切り(特殊な形のものを用意)

It's a can opener.

Use it like this?

You can open a can.

④ハエたたき

It's a fly swatter.

Use it like this.

You can smash a fly.



活動例(3)「キックベースをしよう」

Today's Guestのコーナーで紹介したカバディは、ゲーム中に選手が「カバディ、カバディ、カバディ」と大きな声で連呼しながら動き回る。このゲームを参考にして、子どもたちが大好きなキックベースを、自分の行動を英語で大きな声で言いながらやってみる。騒がしいが愉快的なゲームになる。

【ゲーム中に使う言葉の例】

Roll the ball.(ピッチャーがボールを転がす)

Kick the ball.

Run.

Catch the ball.

Pass the ball.

Hit the ball.

Jump.

You are safe.

You are out.



活動例(4)「英語で体力測定」

体育の時間に行う体力測定を英語で実施してみましよう。動きを表す言葉を英語で言ってみましよう。走った秒数や跳んだ長さ

も英語で示すことができます。体育と英語が自然に結びついた活動になります。

【先生が使う言葉の例】

How high can you jump?(ジャンプの高さ)

45 centimeters high.

How fast can you run?(走る速度)

8.2 seconds.(eight point two secondsと読む)

How far can you jump?(幅跳びの距離)

3 meters and 30 centimeters long.

How far can you throw the ball?(ボール投げの距離)

35 meters long.



国際理解学習への発展

子どもの生活には「遊び」はなくてはならないもの。各国の子どもの「遊び」について調べてみると、その国の伝統的な文化に触れることができます。また、その国が置かれている状況や問題点まで見えてくる場合もあります。番組に登場したブーメランを通してオーストラリアの先住民の生活に触れることができます。また、カバディがインドだけでなくバングラディッシュなどの人たちにとっても国技であることから、この地域には元々文化的には境界線がなかったことが分かります。

単に世界各地の「遊び」を調べるのではなく、調べた遊びは実際に遊んでみるのが大切です。「遊び」を通して、その国の人の気持ちが伝わってくることでしょ。